

## 7. 自己点検及び評価

## (1) 自己点検及び評価の体制

(1) 自己点検及び評価の体制		機構使用欄
担当組織	法学研究科・高等司法研究科評価室	
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念および目標</li> <li>・研究教育組織</li> <li>・学生の受入れ</li> <li>・教育の内容及び方法</li> <li>・教育の成果</li> <li>・学生支援</li> <li>・施設整備</li> <li>・FD及び質保証・評価体制</li> <li>・財務</li> <li>・管理運営及び情報公開体制</li> </ul>	
自己点検・評価書の公表年・月	平成30年2月	
自己点検・評価書の公表方法	研究科ホームページに掲載 <a href="http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/about/self_check.html">http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/about/self_check.html</a>	

- (注) 1. 担当組織及び評価項目については、本文書作成年度の5月1日現在の、自己点検及び評価の実施体制及び評価項目を記入してください。
2. 「自己点検・評価書の公表年月」については、作成・公表された直近の自己点検・評価書の公表年・月(表紙等に記載の上梓日等)を記入してください。

## (2) 自己点検及び評価に基づく改善

自己点検及び 評価の結果	改善の事例	備 考	機構使用欄
法科大学院評価基準等に基づき自己点検を行ったところ、特に問題となる点はなかった。			

- (注) 1. 各欄については、本文書作成年度の5月1日現在で、本評価実施後に、法科大学院における自己点検及び評価の結果に基づいて実施した改善の事例について記入してください。
2. 本文書作成年度の5月1日現在において、検討中であり、未だ改善の途上にある事項については、現在の状況を「改善の事例」欄に記入し、「備考」欄に今後の見通し等についても記入してください。

## 改善すべき点の対応状況

章	改善すべき点	対応状況	備考	機構使用欄
2	法律実務基礎科目に配置されている授業科目「リサーチ&ライティング2」について、教育内容の一部が法律基本科目の内容にとどまっているため、法律実務基礎科目として開設されていることがより一層明らかになるよう教育内容の改善を図る必要がある。	当該授業科目について、授業内容、成績評価方法等を含め、全面的に見直しを行うこととし、今年度はシラバスの授業構成・内容を一新するとともに、法律実務基礎科目としてふさわしい内容となっていることを確認した。（令和元年度実施済）		
3	1 授業科目において授業終了後、試験までの時間が十分に確保されていないため、授業終了後、期末試験までの学生の復習時間が確保されるよう試験日程について改善を図る必要がある。	当該授業科目について、授業終了から期末試験までに十分な復習時間を確保するよう改善した。（令和元年度実施済）		
4	1 授業科目において、当該法科大学院で定められた各ランクの分布の在り方に関する法科大学院としての一般的な方針とは異なる分布で成績評価が行われているため、成績評価の在り方について、全教員に周知徹底する必要がある。	『成績評価の申合せ』の趣旨を徹底するよう、周知方法を工夫する旨方針を決定した。 なお、少人数クラスにおけるS評価の分布割合については見落としが発生しやすい事案であるため、成績評価換算ツールの機能改良を行うとともに、分布割合を逸脱した科目については、教務係において視覚的チェックが可能となるようプロセスを改良した。（令和元年度実施済）		